

ロシアの対中 SU-35 輸出契約はいつか？

漢和防務評論 20150303 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

中国主導のアジアインフラ投資銀行が話題になっていますが、経済音痴の私には南シナ海を中国が埋め立てるための資金集めと思ってしまいます。価値観が全く違う汚職まみれの軍事独裁国家に資金を提供して大丈夫でしょうか？
参加を表明した国は中国マネーが欲しいだけではないでしょうか。
日本のマスコミの見識の無さにはあきれています。
SU-35 の対中輸出についてロシアは時間稼ぎしているようです。

モスクワ航空ショー会場では、7 時 46 分の開門と同時に中国人が殺到した。彼らは、夜明け前の早朝 5 時にはモスクワの市街地を出発している。細部に就いては本誌の関連記事を参照されたい。

KDR ジャカルタ平可夫特電：ロシア軍事工業界の消息筋は、ジャカルタにおいて KDR に対し次のように述べた：ロシアが中国に SU-35 を提供する契約は 2014 年内に締結される可能性は低い、と。その理由は、交渉する項目が極めて多いからである。輸出する技術の細部に就いては未だ確定していない。例えば最終価格はどの程度か？最初に意向価格が提示されたあと、中国の要求に基づいて、中国製武器の搭載ができるよう SU-35 に対する技術的改修が検討される。現段階は改修の費用等が未確定である。

消息筋は次のように述べた：SU-35 が中国の珠海航空ショーに展示されている間、昼夜を問わずロシア側の警備員が警備していた。その理由は、この機体はロシアの現役の戦闘機であり、試験飛行用の機体ではないからである。したがって多くの機密に属する技術を保有しているからである。スホーイ航空機会社及び戦術ミサイル技術集团公司の設計師は幾度も次のように述べた：不幸にして過去の珠海航空ショーでは、夜間に多くの中国人技術者が、ロシアのエンジンやレーダーなどの展示装備品に接近し、寸法を測定したり、写真撮影したりしていた。”我々はこれらの設備が盗まれているのを知っている。中露は戦略的パートナーの関係にある。もし彼らがデータを欲しいのであれば、公式に要求すれば良い。寸法を測定したり写真も撮れる。どうして白昼どうどうとやらないのだろうか？”と述べた。KDR としてはロシア側の意見を紹介しているだけだが、次のように考える：このようなやり方は、今日の中国軍事工業の発展にそぐわない、と。ロシア戦術ミサイル集团公司の YAKHONT ミサイル設計者は、2014 年の珠海航空ショーに展示された中国版 YAKHONT の“CX-1”を次のように評価した。“ANDREI (平可夫氏のカナダ名)、我々は中国が YAKHONT をコピーしたことに驚いてはいない。中国は必ず

YAKHONT をコピーすると数年前に述べた貴方の判断は正しかった。我々は KDR に一つの情報を提供しようと思う。すなわち YAKHONT が初めてモスクワ航空ショーに展示されたとき、我々は中国人が展示ミサイルの本体から塗装の一部をこっそりと削り取ったのを見つけた。彼らは塗装にまでも興味があるとは！実際上は、我々は最初から彼らを監視し追跡していたのだ。我々はそのとき声を出すことはしなかった。なぜなら展示ミサイルの塗装は YAKHONT ミサイルの真の塗装ではなく、航空ショー用に臨時に塗装したものだったからだ。10 年前、KDR の編集主幹平可夫氏は、早朝 7 時 30 分にモスクワ航空ショーの BRAHMOS ミサイルの展示台に到着し、YAKHONT/BRAHMOS ミサイルのパンフレットを入手した。したがって大量の KDR 誌を同公司に送ることになった。7 時 45 分、航空ショー会場のメインゲートが開かれると同時に、20 名以上の中国人が BRAHMOS の展示台を取り囲み詳細に写真撮影したり研究を行っているのを発見した。これが前述したように” ANDREI、当時の君の判断は正しかった “と評価された理由である。中国は遅かれ早かれ YAKHONT をコピーする、と KDR は過去の報道で何度も予測していた。

KDR の中国内部消息筋は、上述の現象に関して次のように述べた：中国は、なぜこのような多くの人員を集中し各種ロシア武器を研究するのか？例えば、SMERCH ロケット砲に使用する誘導ロケット弾 GMLRS？に対し当時は多くの中国人が展示台を取り囲み、測定し、撮影していた。消息筋はこれに対して次のように述べた：その理由は、コピーグループが全員同時に出動したからである。彼らはみな設計者であり、普通の軍事工業の関係者ではない。各コピーグループは、それぞれ担当する部分が割り当てられている。したがって多くの人々が群がるのを貴方は見たのでしょうか、と。

KDR は、次のように考える：中国軍事工業の今日の状況はコピーの時代ではない。コピーすることは将来のためにならない、と。

SU-35 の対中輸出問題に戻ると、上述の消息筋は次のように述べた：ロシア軍に提供する 48 機の SU-35 が完成した後は、ロシアは継続して SU-35 の生産ラインを維持することを希望している。そうすれば順調に次世代型 T-50 戦闘機の生産に移行できるからである、と。

以上